

# 修士課程 入学試験要項

## ■ 募集人員等

研究科	専攻	募集人員				修業年限	
		1期		2期			合計
		一般	社会人	一般	社会人		
医療福祉学研究科	医療福祉学専攻	8名		2名		10名	
	臨床心理学専攻	8名		4名		12名	
	保健看護学専攻	8名		4名		12名	
医療技術学研究科	感覚矯正学専攻	6名		2名		8名	
	健康体育学専攻	6名		2名		8名	
	臨床栄養学専攻	6名		2名		8名	
	リハビリテーション学専攻	4名		2名		6名	
	医療技術学専攻	6名		2名		8名	
医療福祉マネジメント学 研究科	医療福祉経営学専攻	2名		1名		3名	
	医療秘書学専攻	1名		1名		2名	
	医療福祉デザイン学専攻	2名		2名		4名	
	医療情報学専攻	2名		2名		4名	

※ 本大学院臨床心理学専攻は、(公財)日本臨床心理士資格認定協会から臨床心理士受験資格に関する第1種指定を受けています。また、公認心理師となるために必要な本専攻での履修科目と、4年制大学卒業までに履修した必要な科目を届け出ることにより、本専攻修了後に公認心理師受験資格を得ることができます。

## ■ 入学試験日程

	出願期間 【消印有効】	試験日	合格発表	入学手続期間 【消印有効】
修士1期	2020年8月20日(木) ～8月27日(木)	2020年9月9日(水)	2020年9月16日(水) 午前9時	2020年9月16日(水) ～9月24日(木)
修士2期	2021年2月10日(水) ～2月17日(水)	2021年2月24日(水)	2021年2月27日(土) 午前9時	2021年2月27日(土) ～3月5日(金)

## ■ 出 願 資 格

出願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

1. 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者及び2021年3月末までに卒業見込みの者
2. 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び2021年3月末までに授与される見込みの者〔大学評価・学位授与機構から学士の資格を授与された者及び授与される見込みの者〕
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2021年3月末までに修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び修了見込みの者
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び2021年3月末までに修了見込みの者
6. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2021年3月末までに修了見込みの者
7. 文部科学大臣の指定した者
  - 1) ～4) 旧大学令、旧高等師範学校規定、旧師範教育令等関係につき略
  - 5) 防衛大学校又は防衛医科大学校を卒業した者
  - 6) 水産大学校を卒業した者
  - 7) 海上保安大学校を卒業した者
  - 8) 職業訓練大学校の長期課程を修了した者
  - 9) 気象大学校の大学部を卒業した者
  - 10) 教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有するもので22歳に達した者
  - 11) 国立養護教諭養成所を卒業した者で、教育職員免許法による中学校教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者
  - 12) 国立工業教員養成所を卒業した者で、教育職員免許法による高等学校教諭免許状及び3年以上教員として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有する者
8. 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者で、本大学院において、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
9. 2021年4月1日現在で満22歳以上の者で、本大学院において個別の入学資格審査（以下参照）により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（臨床心理学専攻は除く）

### 【入学資格審査に係る各専攻別の基準】

- |              |  |
|--------------|--|
| 医療福祉学専攻      | 社会福祉士又は精神保健福祉士の資格取得者、あるいは医療・福祉（保育等も含む）の専門分野で5年以上の実務経験を有する者   |
| 保健看護学専攻      | 看護系の短期大学又は専修学校を卒業・修了した看護師の資格取得者で、看護職として5年以上の実務経験を有する者  |
| 感覚矯正学専攻      | 視能訓練士又は言語聴覚士の資格取得者（資格取得見込者を含みますが、入学時に資格を取得していない場合は、入学手続を取り消します）  |
| 健康体育学専攻      | 次のいずれかの資格を取得し、5年以上の実務経験を有する者<br>教育職員免許状、健康運動指導士、スポーツプログラマー、ヘルスケアトレーナー、B級地域スポーツ指導者等                                 |
| 臨床栄養学専攻      | 管理栄養士の資格取得者  |
| リハビリテーション学専攻 | 理学療法士又は作業療法士の資格取得者（資格取得見込者を含みますが、入学時に資格を取得していない場合は、入学手続を取り消します）  |
| 医療技術学専攻      | (臨床工学研究コース)<br>臨床工学技士の資格取得者であり、かつ臨床工学分野で2年以上の実務経験を有する者<br>(臨床検査学研究コース)<br>臨床検査技師の資格取得者であり、かつ臨床検査学分野で2年以上の実務経験を有する者 |

	(診療放射線技術学研究コース)
	診療放射線技師の資格取得者であり、かつ診療放射線技術学分野で2年以上の実務経験を有する者
医療福祉経営学専攻	医療機関、福祉施設、教育研究機関、企業等において5年以上の実務経験を有する者
医療秘書学専攻	医療機関、福祉施設、教育研究機関等において5年以上の実務経験を有する者
医療福祉デザイン学専攻	デザインあるいは医療、福祉の専門分野で5年以上の実務経験を有する者
医療情報学専攻	医療あるいは情報関連の業務に十分な経験を有する者

※入学資格審査による受験を希望する者は事前に審査を受けていただく必要がありますので、期限までに本学所定の入学資格認定申請書類を入試課に提出してください（詳細については8頁参照）。

〈臨床心理学専攻を志願する方へ〉

臨床心理学専攻では、4年制大学において、公認心理師法施行規則第1条又は附則第3条（附則第3条については、2017年9月15日より前に大学に入学していることが条件）に定められた科目を修めて卒業した者又は修めて卒業する見込みの者を出願要件とします。よって、大学院入学試験に合格し入学手続後であっても、公認心理師法施行規則第1条又は附則第3条に定められた科目を修めていない場合には入学手続を取り消します。

〈保健看護学専攻助産学研究分野を志願する方へ〉

保健看護学専攻助産学研究分野志願者は、女子に限ります。また、入学時に看護師免許を有している者又は看護師国家試験に合格している者とします。よって、大学院入学試験に合格し入学手続後であっても、看護師国家試験に不合格となった場合には、入学手続を取り消します。

■ 出 願 区 分

出願区分	出 願 対 象
一 般	修士課程出願資格を有する者
社 会 人	修士課程出願資格を有し、2021年4月1日現在で満24歳以上に達した者で、各専攻の専門領域に関する2年以上の実務経験（見込みを含む）を有する者

※2021年度出願に関する事前相談の窓口

1. 電話番号：086-462-1111（代表）
2. 専攻別担当者・内線番号は、以下のとおりです。

研究科	専 攻	担当者	内線番号
医療福祉学研究科	医療福祉学専攻	熊谷	54908
	臨床心理学専攻	谷原	54087、54556
	保健看護学専攻	波川	54983
医療技術学研究科	感覚矯正学専攻	岡	54632、54904
	健康体育学専攻	矢野	54907、54835
	臨床栄養学専攻	武政	54905
	リハビリテーション学専攻	國安	54979
	医療技術学専攻	臨床工学研究コース	望月
臨床検査学研究コース		通山	25350、44418
診療放射線技術学研究コース		荒尾	55069
医療福祉マネジメント学研究科	医療福祉経営学専攻	宮原	54611
	医療秘書学専攻	山本	54009
	医療福祉デザイン学専攻	平野	54900
	医療情報学専攻	阿南	54906

※担当者が不在の時は、電話をかけなおしていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

## ■ 試験日・試験科目

修士1期：2020年9月9日(水)

修士2期：2021年2月24日(水)

出願区分	実施時間	試験科目		摘要
一般	9:00~10:30 (90分)	筆記試験	専門科目	専攻分野に関連したもの
	10:50~11:50 (60分)		英語	医療福祉分野に関連したもの ※
	13:00~	口述試験		主として専攻分野について個別に行う
社会人	9:00~10:30 (90分)	筆記試験	専門科目	専攻分野に関連したもの
	11:00~	口述試験		主として専攻分野について個別に行う

※各専攻共通の問題とします。一般的な英和辞書1冊のみ持ち込むことができます。和英を含むもの、大型のもの、専門用語集となっているもの及び電子辞書類は持ち込むことができません（それらの辞書類を持ち込んだ場合は、試験中、試験監督者が預かります）。

## ■ 選 抜 方 法

専門科目（150点）、英語\*（100点）※一般のみ、口述試験（150点）及び出願書類（成績証明書等）の審査結果を総合的に評価して合否判定を行います。

## ■ 出 願 期 間

修士1期：2020年8月20日(木)～8月27日(木)【消印有効】

修士2期：2021年2月10日(水)～2月17日(水)【消印有効】

## ■ 出 願 書 類

本学所定の書類等は、ホームページ「入試情報」よりダウンロードしてください。

書類等	摘要
入学願書 (A票)	●本学所定の様式に必要事項を記入してください。記入にあたっては33/35頁の『出願書類記入上の注意』を参照してください。
職歴、実務経歴等記入書 (B票)	
入学検定料納入案内書 (C票)	●入学検定料振り込み後、写真票(D票) (36頁参照) 下部の所定箇所に、金融機関収納印が押された「入学検定料振込通知書【大学院】<②本人→大学>」を貼付してください。
写真票 (D票)	●無帽、背景無地、上半身正面向（縦4cm×横3cm）で3か月以内に撮影したものを、写真票(D票) (36頁参照) に貼付してください（裏面に志望専攻、氏名を必ず記入してください）。 ●下部の所定箇所に入学検定料振込通知書を貼付してください。
受験票 (E票)	●本学所定の様式に必要事項を記入し、所定の金額（374円）分の切手を貼ってください（出願書類を持参する場合は、切手は不要です）。
※卒業（見込）証明書	●出身大学等が作成した証明書を提出してください。
※成績証明書（厳封）	●出身大学等が作成し、厳封された証明書を提出してください。
卒業論文及び研究計画概要	●大学における卒業論文あるいは卒業研究の概要等（これに類するものがない場合は、業績、志望動機等で替えることができます）に、将来の研究計画の概要を加えたものを本学所定の様式に2000字程度でまとめて提出してください。 ●本学所定の様式であればパソコン（Word等）での作成を可とします。
宛名ラベル	●市販の角2封筒（24cm×33.2cm）に貼って使用してください。

- (注) 1. ※印の書類については、入学資格審査を通過した者は提出する必要はありません（1期・2期共通）。  
 2. 臨床心理学専攻を志願する方は、上記書類の他、公認心理師法施行規則第1条又は附則第3条（附則第3条については、2017年9月15日より前に大学に入学していることが条件）に定められた科目を修めたこと又は修める見込みであることを証明する書類が必要となります。様式は任意ですが、必ず出身大学が証明したものを提出してください。なお、本大学院入学後に、改めて日本心理研修センターの指定する様式での修了証明書・科目履修証明書を提出していただきます。

## ■ 出願手続・方法

出願書類を一括取り揃え、入学検定料を納入のうえ、本学所定の宛名ラベルを貼付した角2封筒（24cm×33.2cm）に入れて、郵便局窓口から必ず簡易書留速達で郵送してください【消印有効】。

また、直接来学して手続することもできますが、その場合も入学検定料の振り込みは済ませておいてください。来学して出願手続をする場合の大学窓口の受付時間は、以下のとおりです。

窓口受付時間	平日 9:00～15:00
	土曜日 9:00～11:00
日曜・祝日の受付業務は行いません。	

## ■ 出願上の注意

1. 事前に志望する専攻の教員と連絡をとり、出願要件・研究計画などの内容について、十分に確認・相談をしたうえで出願してください。

また、社会人の方で「教育方法の特例措置」と「長期履修制度」の適用を希望する場合は、38頁をご確認ください。

2. 一度提出された出願書類及び納入された入学検定料は、返還（返納）いたしません。  
 3. 受験票（㊦票）に課程・志望研究科・専攻・氏名・性別を記入のうえ、所定の金額（374円）分の切手を貼付し、志願者受験票受取先の住所・氏名を記入してください（来学して提出される場合は、切手を貼付する必要はありません）。  
 4. 受験票（㊦票）は、出願書類受付後に返送します（来学して出願書類を提出された場合、受験票はその場でお返しします）。万一、試験実施日の3日前になっても届かない場合は、入試課へお問い合わせください。  
 5. 来学して出願手続をする場合は、あらかじめ入学検定料の振り込みを済ませておいてください。  
 6. 出願資格において、卒業（修了）見込みで受験し合格した者が、2021年3月末日までに卒業（修了）できない等、入学資格の条件を満たさないことが判明した場合は、入学手続を取り消します。

※その他、出願手続等で不明な点がある時は、入試課へお問い合わせください。（☎086-464-1004）

## ■ 障がいをもつ人の受け入れ

障がいをもつ人でも、本学の教育目標及びアドミッション・ポリシーに相応しい限り、入学していただくことができます。ただし、障がいの程度により、受験上及び修学上必要とされる配慮が異なることや、入学しても目的や目標を達成できない場合がありますので、出願の前に必ず入試課にご連絡ください。病気又は怪我などで療養中の場合も、事前にご連絡ください。

### <事前相談について>

1. 受験上及び修学上の配慮を希望する志願者は、出願前に電話等で入試課へ連絡のうえ、出願期間開始の1週間前までに、以下の書類を提出してください。
- ・受験上及び修学上の配慮事前相談書（大学院）
  - ・医師の診断書
  - ・障害者手帳がある場合は手帳の写し
- ※「受験上及び修学上の配慮事前相談書（大学院）」は、本学ホームページ、入試情報・大学院内の「受験上の配慮希望について」よりダウンロードしてください。
2. 志望する専攻の担当者が、志願者又はその立場を代弁しうる方（保護者・出身学校関係者）との面談を行います。

## ■ 入学検定料及び納入方法

入学検定料	35,000円
納入方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入学検定料は、振り込みに限ります。最寄りの金融機関（銀行・信用金庫・信用組合・農業協同組合）の窓口をご利用ください。ただし、ゆうちょ銀行では取り扱いできません。</li> <li>2. 入学検定料納入案内書（㊟票）①～③に必要事項を記入し、切り離さずに金融機関に持参してください。振込依頼書には志願者本人の氏名を記入してください。</li> <li>3. 振り込み後、㊟票①・②（35頁参照）に取り扱い金融機関の収納印があることを確認してください。なお、㊟票①は領収書となりますので切り離して大切に保管してください。</li> <li>4. 納入した入学検定料は、いかなる理由があっても返納いたしません。</li> </ol>

## ■ 合格発表

修士1期：2020年9月16日(水) 午前9時

修士2期：2021年2月27日(土) 午前9時

合格発表は、本学ホームページ (<https://w.kawasaki-m.ac.jp>) のみで行います。合格者には合格通知書及び入学手続に必要な書類を本人あてに簡易書留速達で郵送します。合格者以外には通知しません。

合格者の辞退等により、募集人員に欠員が生じた場合は、電話によって追加合格の連絡を行うことがあります。

- (注) 1. 合格発表は本学のホームページで行います。受験番号（8桁）及び誕生日（4桁）を入力すると合否の確認ができます。
2. 合否についての電話・郵便等による問い合わせには、一切応じられません。
3. 試験会場付近等での合否電報・電話等の受付勧誘については、本学とは一切関係ありません。

## ■ 入学手続

修士1期：2020年9月16日(水)～9月24日(木)【消印有効】

修士2期：2021年2月27日(土)～3月5日(金)【消印有効】

1. 入学手続に必要な書類は、合格通知とともに送付しますので、同封の『入学手続について』を熟読のうえ、入学手続期間内に手続を完了してください。期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退として取り扱います。

(注) **入学金等の振り込みのみでは、入学手続が完了したことにはなりません。**

2. 入学手続期間内に納入金を納め、入学手続に必要な書類を簡易書留速達【消印有効】で郵送してください。なお、大学窓口での納入金受付業務は行いません。
3. 入学手続に必要な書類は以下のとおりです（合格発表時に郵送します）。
  - ① 入学届及び誓約書
  - ② 学費・諸会費振込証明書（各1枚）
  - ③ 身元保証書
  - ④ 住民票記載事項証明書
  - ⑤ 入学手続完了通知

## ■ 2021年度学費等

### (1) 学費（入学金を含む）

（単位：円）

区 分	入学金 (入学時のみ)	授業料／年 (分納金額)	教育充実費／年 (分納金額)	納入金合計／年 (入学時納入金額)
医療福祉学研究科 保健看護学専攻 助産学研究分野	200,000	700,000 (350,000)	300,000 (150,000)	1,200,000 (700,000)
上 記 以 外 の 研 究 科・ 専 攻	200,000	400,000 (200,000)	300,000 (150,000)	900,000 (550,000)

- ※ 1. 初年度は、上記の学費が必要になります。授業料及び教育充実費は入学時と9月の分納で、入学時時には入学金及び授業料・教育充実費の半額〔上記（ ）内の金額〕及び(2)諸会費の合計金額を納入してください。ただし、本学卒業生は入学金が半額（100,000円）となります。
- ※ 2. 2年目以降の学費は入学金を除く金額で、年2回（4月と9月）の分納となります。
- ※ 3. 入学時時の学費納入は、合格通知書送付の際に同封する振込用紙を使用してください。
- ※ 4. 上記一覧表の金額以外に、実験・実習に関する費用を別に負担していただく場合があります。

### (2) 諸会費

入学時時に、諸会費として以下の費用を納入してください。（各研究科・専攻共通）

（単位：円）

内 訳	金 額	摘 要
協 助 会 費	15,000	7,500×2年分
合 計	15,000	

## ■ 入 学 辞 退

入学時を完了した者で、入学を辞退する場合は、**2021年3月31日(水)午後5時まで**（修士1期・修士2期共通）に所定の入学辞退届を入試課へ提出すれば、入学金以外の納入金を返納いたします。

（注）郵送の場合は、当日の午後5時までに必着のこと。締切日以降の申し出については、返納しません。

## ■ 入学資格審査（修士1期・修士2期共通）

出願資格9.（2/3頁参照）により出願を希望する者は、出願に先立ち入学資格審査を行うため、次の申請書類を入試課へ提出してください。本審査を通過した者に各専攻への出願資格を認めます。

なお、各専攻別の審査基準については、出願資格【入学資格審査に係る各専攻別の基準】（2/3頁参照）を確認してください。

### (1) 申請期限

	入学資格認定申請期限
修士1期	2020年7月22日(水)【当日必着】
修士2期	2021年1月6日(水)【当日必着】

※審査を受ける者は、以下(2)の申請書類を入学資格認定申請期限までに入試課へ提出してください。【当日必着】

※入学資格審査結果は、出願開始日までに申請者あてに郵便で通知します。入学資格審査通過者は、本試験の出願期間に出願書類（4/5頁参照）を提出してください。

### (2) 申請書類

書 類 等	摘 要
※入学資格認定申請書	●本学所定の用紙を使用してください。 ●学歴は高等学校卒業から記入してください。
※入学資格認定申請理由書	●本学所定の用紙を使用してください。
卒業（修了）証明書	●出身学校等の学校長等が作成したものを提出してください。
成績証明書〈厳封〉	●出身学校等の学校長等が作成し、厳封したものを提出してください。
免許状の写し	●各専攻において、入学資格審査に係る各種免許状の写しを提出してください。

※本学所定の書類については、本学ホームページ、入試情報「大学院入学資格の個別審査」よりダウンロードできます。

### (3) 入学検定料

入学資格審査における入学検定料は不要です。入学資格審査を通過し、本試験に出願する志願者のみ入学検定料を納入してください。

### (4) 申請上の注意

- ・申請期限までにすべての書類を揃えてください。申請書類に不備がある場合は受理できません。
- ・郵送する場合は、封筒の表に「入学資格申請」と朱書きし、必ず簡易書留速達で郵送してください。
- ・1期において入学資格の認定を受けた者は、当該認定を受けた専攻については、2期において再度入学資格審査を申請する必要はありません。

### (5) 申請先

川崎医療福祉大学入試課  
〒701-0193 岡山県倉敷市松島288 (☎086-464-1004)



# 修士課程各研究科・専攻の教育課程の概要

※2021年度の教育課程の概要を掲載しています。

※授業科目の内容及び担当教員は、本学ホームページ (<https://mwnet.kawasaki-m.ac.jp/syllabus/>) に掲載していますので、そちらをご覧ください。

## 【医療福祉学研究科医療福祉学専攻】

研究分野	授 業 科 目	配当 年次	単位数	
			必修	選択
医療福祉学基礎研究	医療福祉学特論Ⅰ	1		2
	医療福祉学特論Ⅱ	1		2
	子ども医療福祉学特論Ⅰ	1		2
	子ども医療福祉学特論Ⅱ	1		2
	社会学特論Ⅰ	1		2
	社会学特論Ⅱ	1		2
	社会福祉調査特論Ⅰ	1		2
	社会福祉調査特論Ⅱ	1		2
	文化人類学特論Ⅰ	1		2
	文化人類学特論Ⅱ	1		2
	人間行動学特論Ⅰ	1		2
	人間行動学特論Ⅱ	1		2
	医療福祉の生命倫理学特論Ⅰ	1		2
	医療福祉の生命倫理学特論Ⅱ	1		2
	医療福祉学基礎演習Ⅰ	1		2
	医療福祉学基礎演習Ⅱ	1		2
質的研究方法論Ⅰ		1		2
	質的研究方法論Ⅱ	1		2
発達障害研究	TEACCHプログラム特論Ⅰ	1		2
	TEACCHプログラム特論Ⅱ	1		2
	TEACCHプログラム演習Ⅰ	1		2
	TEACCHプログラム演習Ⅱ	2		2
	自閉症学概論	1		2
	自閉症児(者)支援特論Ⅰ	1		2
	自閉症児(者)支援特論Ⅱ	1		2
	コミュニケーション研究	1		2
	自閉症の病理	1		2
	高機能自閉症研究	1		2
	発達障害児(者)福祉学特論Ⅰ	1		2
	発達障害児(者)福祉学特論Ⅱ	1		2
	障害者医療福祉学特論Ⅰ	1		2
	障害者医療福祉学特論Ⅱ	1		2
特別支援教育特論	1		2	
聴覚障害生理・病理特論	1		2	
聴覚障害心理学特論	1		2	
知的障害特論	1		2	
医療福祉学研究	医療ソーシャルワーク特論Ⅰ	1		2
	医療ソーシャルワーク特論Ⅱ	1		2
	精神保健福祉学特論Ⅰ	1		2
	精神保健福祉学特論Ⅱ	1		2
	精神医学特論Ⅰ	1		2
	精神医学特論Ⅱ	1		2
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1		2
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	1		2
	ソーシャルワーク実習	1		9
	ソーシャルワーク・スーパービジョン特論	1		2
インタープロフェッショナル・ワーク演習	1		2	
社会福祉研究	社会福祉学特論Ⅰ	1		2
	社会福祉学特論Ⅱ	1		2
	児童家庭福祉学特論Ⅰ	1		2
	児童家庭福祉学特論Ⅱ	1		2
	高齢者医療福祉学特論Ⅰ	1		2

研究分野	授 業 科 目	配当 年次	単位数		
			必修	選択	
社会福祉研究	高齢者医療福祉学特論Ⅱ	1		2	
	地域医療福祉学特論Ⅰ	1		2	
	地域医療福祉学特論Ⅱ	1		2	
	福祉教育特論Ⅰ	1		2	
	福祉教育特論Ⅱ	1		2	
	医療福祉政策研究	社会政策・社会保障特論Ⅰ	1		2
社会政策・社会保障特論Ⅱ		1		2	
医療福祉制度特論Ⅰ		1		2	
医療福祉制度特論Ⅱ		1		2	
医療福祉経済学特論Ⅰ		1		2	
医療福祉経済学特論Ⅱ		1		2	
環境福祉研究		環境福祉学特論	1		2
		産業保健福祉学特論	1		2
		公衆衛生学特論Ⅰ	1		2
		公衆衛生学特論Ⅱ	1		2
	地域保健福祉学特論Ⅰ	1		2	
	地域保健福祉学特論Ⅱ	1		2	
遺伝カウンセリング研究	遺伝医療と生命倫理学特論	2		2	
	臨床心理学特論	1		2	
	人類遺伝学特論Ⅰ	1		2	
	人類遺伝学特論Ⅱ	1		2	
	遺伝医学特論Ⅰ	1		2	
	遺伝医学特論Ⅱ	2		2	
	遺伝カウンセリング・臨床遺伝学特論	1		2	
	人類遺伝学演習	1		2	
	遺伝カウンセリング演習Ⅰ	1		2	
	遺伝カウンセリング演習Ⅱ	2		2	
	臨床遺伝学・遺伝情報学演習	1		2	
	遺伝カウンセリング学研究Ⅰ	1		2	
	遺伝カウンセリング学研究Ⅱ	2		2	
	遺伝カウンセリング実習Ⅰ	1		2	
遺伝カウンセリング実習ⅡA	2		2		
遺伝カウンセリング実習ⅡB	2		2		
医学特論	1		2		
医療福祉学実習	1		4		
医療福祉学特別研究Ⅰ	2		2		
医療福祉学特別研究Ⅱ	2		2		
小 計			4	183	

修了要件・必修4単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。

- 指導教員の担当する「医療福祉学特別研究Ⅰ」2単位、「医療福祉学特別研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。

- 修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

◎発達障害（TEACCH）コース

下記の科目表により、必修科目28単位並びに  
選択科目8単位以上を修得すること。

授 業 科 目	単位数	履修の方法
TEACCHプログラム特論Ⅰ	2	必修28単位
TEACCHプログラム特論Ⅱ	2	
TEACCHプログラム演習Ⅰ	2	
TEACCHプログラム演習Ⅱ	2	
自閉症学概論	2	
自閉症児(者)支援特論Ⅰ	2	
自閉症児(者)支援特論Ⅱ	2	
コミュニケーション研究	2	
自閉症の病理	2	
高機能自閉症研究	2	
医療福祉学実習	4	
医療福祉学特別研究Ⅰ	2	
医療福祉学特別研究Ⅱ	2	
精神医学特論Ⅰ	2	
精神医学特論Ⅱ	2	
人間行動学特論Ⅰ	2	
人間行動学特論Ⅱ	2	
発達障害児(者)福祉学特論Ⅰ	2	
発達障害児(者)福祉学特論Ⅱ	2	
医療福祉制度特論Ⅰ	2	
医療福祉制度特論Ⅱ	2	
医療福祉学基礎演習Ⅰ	2	
医療福祉学基礎演習Ⅱ	2	

- 履修要件・「TEACCHプログラム特論Ⅱ」を履修する場合は、「TEACCHプログラム特論Ⅰ」を修得済みであること。
- ・「TEACCHプログラム演習Ⅱ」を履修する場合は、「TEACCHプログラム演習Ⅰ」を修得済みであること。

◎遺伝カウンセリングコース

下記の科目表により、必修科目38単位並びに  
選択科目6単位以上を修得すること。

授 業 科 目	単位数	履修の方法
医療福祉学特論Ⅰ	2	必修38単位
遺伝医療と生命倫理学特論	2	
臨床心理学特論	2	
人類遺伝学特論Ⅰ	2	
人類遺伝学特論Ⅱ	2	
遺伝医学特論Ⅰ	2	
遺伝医学特論Ⅱ	2	
遺伝カウンセリング・臨床遺伝学特論	2	
人類遺伝学演習	2	
遺伝カウンセリング演習Ⅰ	2	
遺伝カウンセリング演習Ⅱ	2	
臨床遺伝学・遺伝情報学演習	2	
遺伝カウンセリング学研究Ⅰ	2	
遺伝カウンセリング学研究Ⅱ	2	
遺伝カウンセリング実習Ⅰ	2	
遺伝カウンセリング実習ⅡA	2	
遺伝カウンセリング実習ⅡB	2	
医療福祉学特別研究Ⅰ	2	選択6単位以上
医療福祉学特別研究Ⅱ	2	
社会福祉調査特論Ⅰ	2	
社会福祉調査特論Ⅱ	2	
人間行動学特論Ⅰ	2	
医療福祉の生命倫理学特論Ⅰ	2	
医療福祉の生命倫理学特論Ⅱ	2	
医療福祉学基礎演習Ⅰ	2	
医療福祉学基礎演習Ⅱ	2	
質的研究方法論Ⅰ	2	
質的研究方法論Ⅱ	2	
障害者医療福祉学特論Ⅰ	2	
医療ソーシャルワーク特論Ⅰ	2	
社会政策・社会保障特論Ⅰ	2	
医療福祉制度特論Ⅰ	2	
公衆衛生学特論Ⅰ	2	
公衆衛生学特論Ⅱ	2	
地域保健福祉学特論Ⅰ	2	
地域保健福祉学特論Ⅱ	2	
医学特論	2	

- 履修要件・「人類遺伝学演習」を履修する場合は、同じ学期に「人類遺伝学特論Ⅰ」を履修すること。
- ・「人類遺伝学特論Ⅱ」を履修する場合は、「人類遺伝学特論Ⅰ」と「人類遺伝学演習」を修得済みであること。
  - ・「遺伝カウンセリング実習Ⅰ」を履修する場合は、「人類遺伝学特論Ⅰ」と「人類遺伝学演習」を修得済みであること。
  - ・非医療系出身者は医学特論を修得すること。

【医療福祉学研究科臨床心理学専攻】

授 業 科 目	配当 年次	単位数	
		必修	選択
臨床心理学特論 A	1	2	
臨床心理学特論 B	1	2	
医療福祉学特論 A	1		2
医療福祉学特論 B	1		2
臨床心理査定演習 A	2	2	
臨床心理査定演習 B	2	2	
障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	1		2
臨床心理面接特論 A	1	2	
臨床心理面接特論 B	1	2	
グループ・アプローチ特論	1		2
精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1		2
老年心理学特論	1		2
社会心理学特論	1		2
心理学研究法特論	1		2
学校臨床心理学特論	1		2
発達心理学特論	1		2
人間関係学特論	1		2
神経生理学特論	1		2
学習心理学特論	1		2
教育分野に関する理論と支援の展開	1		2
社会病理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1		2
産業・労働分野に関する理論と支援の展開	1		2
心理的アセスメントに関する理論と実践	1		2
心理支援に関する理論と実践	1		2
家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1		2
心の健康教育に関する理論と実践	1		2
臨床心理学研究法特論	1		2
臨床心理学研究法演習 A	2		2
臨床心理学研究法演習 B	2		2
臨床心理基礎実習 A	1	1	
臨床心理基礎実習 B	1	1	
心理実践実習 A	1		2
心理実践実習 B	1		1
心理実践実習 C	1		2
臨床心理実習 I (心理実践実習D)	2	2	
臨床心理実習 II (心理実践実習E)	2	3	
臨床心理実習 III	2	1	
小 計		20	51

修了要件・必修20単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文又は特定の課題を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。

- 指導教員の担当する「臨床心理学研究法特論」、「臨床心理学研究法演習A」及び「臨床心理学研究法演習B」の合計6単位を必ず修得すること。
- 「臨床心理実習 I (心理実践実習D)」を履修する場合は、「心理実践実習A」を修得済みであること。
- 「臨床心理実習 III」を履修する場合は、「心理実践実習B」を修得済みであること。
- 修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

◎公認心理師資格取得のための履修科目

臨床心理学専攻は、公認心理師資格取得に関するカリキュラム構成になっています。下記の開設科目を履修し、修了することにより、公認心理師の受験資格を取得することができます。

文部科学省及び厚生労働省指定科目	本専攻の開講科目	単位数
保健医療分野に関する理論と支援の展開	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2
福祉分野に関する理論と支援の展開	障害者（児）心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2
教育分野に関する理論と支援の展開	教育分野に関する理論と支援の展開	2
司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	社会病理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2
産業・労働分野に関する理論と支援の展開	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2
心理的アセスメントに関する理論と実践	心理的アセスメントに関する理論と実践	2
心理支援に関する理論と実践	心理支援に関する理論と実践	2
家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2
心の健康教育に関する理論と実践	心の健康教育に関する理論と実践	2
心理実践実習（実習の時間が450時間以上のものに限る。）	心理実践実習 A	2
	心理実践実習 B	1
	心理実践実習 C	2
	臨床心理実習 I（心理実践実習 D）	2
	臨床心理実習 II（心理実践実習 E）	3

◎臨床心理士資格取得のための履修科目

臨床心理学専攻は、臨床心理士資格取得に関する指定大学院1種にもとづくカリキュラム構成になっています。下記の開設科目を履修し、修了することにより、臨床心理士の受験資格を取得することができます。

日本臨床心理士資格認定協会指定科目		本専攻の開講科目	単位数	
必修科目	臨床心理学特論	臨床心理学特論 A	2	
		臨床心理学特論 B	2	
	臨床心理面接特論	臨床心理面接特論 A	2	
		臨床心理面接特論 B	2	
	臨床心理査定演習	臨床心理査定演習 A	2	
		臨床心理査定演習 B	2	
	臨床心理基礎実習	臨床心理基礎実習 A	1	
		臨床心理基礎実習 B	1	
		臨床心理実習 I（心理実践実習 D）	2	
	臨床心理実習	臨床心理実習 II（心理実践実習 E）	3	
臨床心理実習 III		1		
A群	心理学研究法特論	心理学研究法特論	2	
	心理統計法特論			
	臨床心理学研究法特論	臨床心理学研究法特論	2	
B群	人格心理学特論			
	発達心理学特論	発達心理学特論	2	
	学習心理学特論	学習心理学特論	2	
	認知心理学特論			
	比較行動学特論			
C群	教育心理学特論			
	社会心理学特論	社会心理学特論	2	
	人間関係学特論	人間関係学特論	2	
	社会病理学特論	社会病理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2	
	家族心理学特論	家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2	
	犯罪心理学特論			
D群	臨床心理関連行政論			
	精神医学特論	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2	
	心身医学特論			
	神経生理学特論	神経生理学特論	2	
	老年心理学特論	老年心理学特論	2	
	障害者（児）心理学特論	障害者（児）心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2	
	精神薬理学特論			
	E群	投影法特論		
		心理療法特論		
		学校臨床心理学特論	学校臨床心理学特論	2
グループ・アプローチ特論		グループ・アプローチ特論	2	
臨床心理地域援助特論				

※必修科目20単位、選択必修科目（A～E群）からそれぞれ2単位以上、計30単位以上修得すること。

【医療福祉学研究科保健看護学専攻】

研究分野	授 業 科 目	配当 年次	単位数	
			必修	選択
基礎理論研究	看護教育学特論	1	2	2
	看護理論特論	1	2	2
	看護研究方法論Ⅰ	1	2	2
	看護研究方法論Ⅱ	1	2	2
	看護倫理学特論	1	2	2
	看護管理学特論	1	2	2
	家族看護学特論	1	2	2
	看護法科学特論Ⅰ	1	2	2
	看護法科学特論Ⅱ	1	2	2
	アドバンストフィジカルアセスメント	1	2	2
	病態学特論	1	2	2
	臨床薬理学特論	1	2	2
	看護臨床医科学特論	1	2	2
	健康教育学特論	1	2	2
	臨床試験看護学特論	1	2	2
	コンサルテーション論	1	2	2
	医療福祉学特論	1	2	2
	社会政策・社会保障特論	1	2	2
	医療福祉制度特論	1	2	2
	保健看護学研究	基礎看護学特論Ⅰ	1	2
基礎看護学特論Ⅱ		1	2	2
母性看護学特論Ⅰ		1	2	2
母性看護学特論Ⅱ		1	2	2
小児看護学特論Ⅰ		1	2	2
小児看護学特論Ⅱ		1	2	2
成人看護学特論Ⅰ		1	2	2
成人看護学特論Ⅱ		1	2	2
高齢者看護学特論Ⅰ		1	2	2
高齢者看護学特論Ⅱ		1	2	2
学校看護学特論Ⅰ		1	2	2
学校看護学特論Ⅱ		1	2	2
在宅看護学特論Ⅰ		1	2	2
在宅看護学特論Ⅱ		1	2	2
精神看護学特論Ⅰ		1	2	2
精神看護学特論Ⅱ		1	2	2
公衆衛生看護学特論Ⅰ		1	2	2
公衆衛生看護学特論Ⅱ		1	2	2
がん薬物療法看護学特論		1	2	2
緩和ケア特論		1	2	2
高度実践看護研究	がん看護学特論	1	2	2
	がん看護援助学特論	1	2	2
	がん薬物療法看護援助学特論	1	2	2
	緩和ケア援助学特論	1	2	2
	がん看護学実習Ⅰ	2	6	2
	がん看護学実習Ⅱ	2	2	2
助産学研究	がん看護学実習Ⅲ	2	2	2
	基礎助産学特論	1	2	2
	週産期学特論	1	2	2
	リプロダクティブ・ヘルス	1	2	2
	妊娠期助産診断・技術学演習	1	2	2
	分娩期助産診断・技術学演習	1	3	2
	産褥期助産診断・技術学演習	1	1	2
	週産期救急医学特論	1	1	2
	新生児医学特論	1	1	2
	地域母子保健学特論	1	1	2
看護管理学研究	助産業務管理学特論	1	2	2
	助産学実習Ⅰ	1	2	2
	助産学実習Ⅱ	2	9	2
	実践看護管理学特論	1	2	2
保健看護学実習Ⅰ	看護経済学特論	1	2	2
	看護政策	1	2	2
	看護管理学演習Ⅰ	2	2	2
	看護管理学演習Ⅱ	2	2	2
保健看護学実習Ⅰ	1	2	2	2

研究分野	授 業 科 目	配当 年次	単位数	
			必修	選択
保健看護学実習Ⅱ		1	2	2
保健看護学セミナーⅠ		1	2	2
保健看護学セミナーⅡ		2	2	2
保健看護学特別研究Ⅰ		2	2	2
保健看護学特別研究Ⅱ		2	2	2
小 計			4	142

修了要件・必修4単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文又は特定の課題を作成し、最終試験に合格すること。なお、特定の課題については、高度実践看護研究分野、助産学研究分野、看護管理学研究分野に適用とする。

履修方法

<保健看護学研究分野>

- 指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- 指導教員の担当する「保健看護学特別研究Ⅰ」2単位、「保健看護学特別研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。
- 修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

<看護管理学研究分野>

- 指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- 指導教員の担当する「保健看護学特別研究Ⅰ」2単位、「保健看護学特別研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。
- 修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。
- 認定看護管理者認定審査受験資格を取得できる。

<高度実践看護研究分野>

- 指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- 指導教員の担当する「保健看護学特別研究Ⅰ」2単位、「保健看護学特別研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。
- 修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。
- がん看護専門看護師認定審査受験資格を取得しようとする場合は、下表の17科目を履修し、38単位以上を修得すること。また、実務研修(就労)通算5年以上(うち、がん看護分野の研修(就労)が3年以上)を有すること。

研究分野	授 業 科 目	単位数	履修の方法
基礎理論研究	看護教育学特論	2	選択8単位
	看護理論特論	2	
	看護研究方法論Ⅰ	2	
	看護倫理学特論	2	
	看護管理学特論	2	
	コンサルテーション論	2	
	アドバンストフィジカルアセスメント	2	
	病態学特論	2	
	臨床薬理学特論	2	
	看護臨床医科学特論	2	
保健看護学研究	がん薬物療法看護学特論	2	必修30単位
	緩和ケア特論	2	
	がん看護学特論	2	
	がん看護援助学特論	2	
高度実践看護研究	がん薬物療法看護援助学特論	2	
	緩和ケア援助学特論	2	
	がん看護学実習Ⅰ	6	
	がん看護学実習Ⅱ	2	
	がん看護学実習Ⅲ	2	

<助産学研究分野>

- 指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- 指導教員の担当する「保健看護学特別研究Ⅰ」2単位、「保健看護学特別研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。
- 修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。
- 助産師国家試験受験資格を取得しようとする場合は、修了要件32単位に加えて、下表の12科目28単位を必修とする。

分野	授業科目	単位数	履修の方法
基礎助産学	基礎助産学特論	2	必修28単位
	周産期学特論	2	
	リプロダクティブ・ヘルスト論	2	
助産診断・技術学	妊娠期助産診断・技術学演習	2	
	分娩期助産診断・技術学演習	3	
	産褥期助産診断・技術学演習	1	
	周産期救急医学特論	1	
	新生児医学特論	1	
地域母子保健	地域母子保健学特論	1	
助産管理	助産業務管理学特論	2	
助産学実習	助産学実習Ⅰ	2	
	助産学実習Ⅱ	9	

【医療技術学研究科感覚矯正学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数	
			必修	選択
基礎感覚矯正学研究	感覚矯正学特論Ⅰ	1		2
	感覚矯正学特論Ⅱ	1		2
	感覚器病理学特論Ⅰ	1		2
	感覚器病理学特論Ⅱ	1		2
	視覚・言語聴覚解剖学特論Ⅰ	1		2
	視覚・言語聴覚解剖学特論Ⅱ	1		2
	視覚・言語聴覚解剖学演習Ⅰ	2		2
	視覚・言語聴覚解剖学演習Ⅱ	2		2
	視覚臨床生理学特論Ⅰ	1		2
視	視覚臨床生理学特論Ⅱ	1		2
	視覚臨床生理学演習Ⅰ	2		2
能	視覚臨床生理学演習Ⅱ	2		2
	視覚発達学特論Ⅰ	1		2
矯	視覚発達学特論Ⅱ	1		2
	視覚発達学演習Ⅰ	2		2
正	視覚発達学演習Ⅱ	2		2
	視覚障害リハビリテーション学特論Ⅰ	1		2
学	視覚障害リハビリテーション学特論Ⅱ	1		2
	視覚障害リハビリテーション学演習Ⅰ	2		2
研	視覚障害リハビリテーション学演習Ⅱ	2		2
	視覚臨床病理学特論Ⅰ	1		2
究	視覚臨床病理学特論Ⅱ	1		2
	視覚臨床病理学演習Ⅰ	2		2
言	視覚臨床病理学演習Ⅱ	2		2
	視能矯正・訓練学特論Ⅰ	1		2
語	視能矯正・訓練学特論Ⅱ	1		2
	視能矯正・訓練学演習Ⅰ	2		2
聴	視能矯正・訓練学演習Ⅱ	2		2
	視能矯正・訓練学実習Ⅰ	1		2
覚	視能矯正・訓練学実習Ⅱ	1		2
	言語聴覚生理学特論Ⅰ	1		2
学	言語聴覚生理学特論Ⅱ	1		2
	言語聴覚生理学演習Ⅰ	2		2
研	言語聴覚生理学演習Ⅱ	2		2
	言語聴覚発達学特論Ⅰ	1		2
究	言語聴覚発達学特論Ⅱ	1		2
	言語聴覚発達学演習Ⅰ	2		2
言	言語聴覚発達学演習Ⅱ	2		2
	言語聴覚臨床病理学特論Ⅰ	1		2
語	言語聴覚臨床病理学特論Ⅱ	1		2
	言語聴覚臨床病理学演習Ⅰ	2		2
聴	言語聴覚臨床病理学演習Ⅱ	2		2
	音声言語病理学特論Ⅰ	1		2
覚	音声言語病理学特論Ⅱ	1		2
	音声言語病理学演習Ⅰ	2		2
学	音声言語病理学演習Ⅱ	2		2
	オーゾロロジー特論Ⅰ	1		2
研	オーゾロロジー特論Ⅱ	1		2
	オーゾロロジー演習Ⅰ	2		2
究	オーゾロロジー演習Ⅱ	2		2
	言語発達障害学特論Ⅰ	1		2
	言語発達障害学特論Ⅱ	1		2

研究分野	授業科目	配当年次	単位数	
			必修	選択
言語聴覚学研究	言語発達障害学演習Ⅰ	2		2
	言語発達障害学演習Ⅱ	2		2
	医療言語聴覚学特論Ⅰ	1		2
	医療言語聴覚学特論Ⅱ	1		2
	医療言語聴覚学演習Ⅰ	2		2
	医療言語聴覚学演習Ⅱ	2		2
	医療言語聴覚学実習Ⅰ	1		2
	医療言語聴覚学実習Ⅱ	1		2
	小計			

- 修了要件・選択した研究分野の中の特論4科目以上を含む32単位以上を修得し、かつ修士論文を作成し、最終試験に合格すること。
- 履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- 指導教員の担当する演習4単位を必ず修得すること。
  - 実習科目4単位を必ず修得すること。
  - 修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【医療技術学研究科健康体育学専攻】

研究分野	授 業 科 目	配当 年次	単位数	
			必修	選択
運動学研究	運動生理学特論Ⅰ	1		2
	運動生理学特論Ⅱ	1		2
	運動適応学特論Ⅰ	1		2
	運動適応学特論Ⅱ	1		2
	体表解剖学特論Ⅰ	1		2
	体表解剖学特論Ⅱ	1		2
	バイオメカニクス特論Ⅰ	1		2
	バイオメカニクス特論Ⅱ	1		2
	運動学演習	2		2
生涯スポーツ医学研究	臨床スポーツ医学特論Ⅰ	1		2
	臨床スポーツ医学特論Ⅱ	1		2
	生涯スポーツ医学特論Ⅰ	1		2
	生涯スポーツ医学特論Ⅱ	1		2
	リハビリテーション医学特論Ⅰ	1		2
	リハビリテーション医学特論Ⅱ	1		2
	公衆衛生学特論Ⅰ	1		2
	公衆衛生学特論Ⅱ	1		2
	生涯スポーツ医学演習	2		2
健康学研究	運動栄養学特論Ⅰ	1		2
	運動栄養学特論Ⅱ	1		2
	健康免疫学特論Ⅰ	1		2
	健康免疫学特論Ⅱ	1		2
	健康運動処方特論Ⅰ	1		2
	健康運動処方特論Ⅱ	1		2
	休養科学特論Ⅰ	1		2
	休養科学特論Ⅱ	1		2
	ライフサイクル栄養学特論Ⅰ	1		2
	ライフサイクル栄養学特論Ⅱ	1		2
	学校保健学特論Ⅰ	1		2
	学校保健学特論Ⅱ	1		2
健康学演習	2		2	
健康教育学研究	健康教育学特論Ⅰ	1		2
	健康教育学特論Ⅱ	1		2
	体育心理学特論Ⅰ	1		2
	体育心理学特論Ⅱ	1		2
	スポーツ社会学特論Ⅰ	1		2
	スポーツ社会学特論Ⅱ	1		2
	健康科学英語特論Ⅰ	1		2
	健康科学英語特論Ⅱ	1		2
	健康教育学演習	2		2
学校教育学研究	学校教育学特論Ⅰ	1		2
	学校教育学特論Ⅱ	1		2
	教育経営学特論Ⅰ	1		2
	教育経営学特論Ⅱ	1		2
	学校教育学演習	2		2
実習	運動処方実習Ⅰ	1		2
	運動処方実習Ⅱ	1		2
	健康学実習	1		1
健康体育学特別研究Ⅰ		2	2	
健康体育学特別研究Ⅱ		2	2	
小 計		4		95

修了要件・必修4単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。

- 指導教員の担当する「健康体育学特別研究Ⅰ」2単位、「健康体育学特別研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。

- 修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。



【医療技術学研究科臨床栄養学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数	
			必修	選択
基礎栄養学研究	栄養生理学特論Ⅰ	1		2
	栄養生理学特論Ⅱ	1		2
	栄養生理学演習Ⅰ	1		2
	栄養生理学演習Ⅱ	1		2
	栄養生化学特論Ⅰ	1		2
	栄養生化学特論Ⅱ	1		2
	栄養生化学演習Ⅰ	1		2
	栄養生化学演習Ⅱ	1		2
医療栄養学研究	ライフサイクル栄養学特論Ⅰ	1		2
	ライフサイクル栄養学特論Ⅱ	1		2
	ライフサイクル栄養学特論Ⅲ	1		2
	ライフサイクル栄養学演習Ⅰ	1		2
	ライフサイクル栄養学演習Ⅱ	1		2
	ライフサイクル栄養学演習Ⅲ	1		2
	臨床栄養学特論Ⅰ	1		2
	臨床栄養学特論Ⅱ	1		2
	臨床栄養学特論Ⅲ	1		2
	臨床栄養学演習Ⅰ	1		2
	臨床栄養学演習Ⅱ	1		2
	臨床栄養学演習Ⅲ	1		2
	実践栄養学特論	1		2
	実践栄養学演習	1		2
食品科学研究	食品栄養学特論Ⅰ	1		2
	食品栄養学特論Ⅱ	1		2
	食品栄養学演習Ⅰ	1		2
	食品栄養学演習Ⅱ	1		2
	食品衛生学特論	1		2
	食品衛生学演習	1		2
	食品微生物学特論	1		2
	食品微生物学演習	1		2
演習学	栄養学演習Ⅰ	1	2	
	栄養学演習Ⅱ	1	2	
特別研究	Ⅰ	2	2	
特別研究	Ⅱ	2	2	
	小計		8	60

- 修了要件・必修8単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文を作成し、最終試験に合格すること。
- 履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- 指導教員の担当する「特別研究Ⅰ」2単位、「特別研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。
  - 修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【医療技術学研究科リハビリテーション学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数		
			必修	選択	
基礎研究	リハビリテーション学特論A	1	2		
	リハビリテーション学特論B	1	2		
	運動機能学特論A	1		2	
	運動機能学特論B	1		2	
	運動機能学演習A	2		2	
	運動機能学演習B	2		2	
	運動生理学特論A	1		2	
	運動生理学特論B	1		2	
	障害回復学特論A	1		2	
	障害回復学特論B	1		2	
	障害回復学演習A	2		2	
	障害回復学演習B	2		2	
	障害代償学特論A	1		2	
	障害代償学特論B	1		2	
	障害代償学演習A	2		2	
	障害代償学演習B	2		2	
	神経機能学特論A	1		2	
	神経機能学特論B	1		2	
	医療福祉学特論A	1		2	
	医療福祉学特論B	1		2	
	健康増進科学特論A	1		2	
	健康増進科学特論B	1		2	
	障害測定学特論A	1		2	
	障害測定学特論B	1		2	
	理学療法学研究	理学療法学特論ⅠA	1		2
		理学療法学特論ⅠB	1		2
		理学療法学演習ⅠA	2		2
		理学療法学演習ⅠB	2		2
理学療法学特論ⅡA		1		2	
理学療法学特論ⅡB		1		2	
理学療法学演習ⅡA		2		2	
理学療法学演習ⅡB		2		2	
理学療法学実習A		1		2	
理学療法学実習B		1		2	
作業療法学研究		作業療法学特論ⅠA	1		2
		作業療法学特論ⅠB	1		2
	作業療法学演習ⅠA	2		2	
	作業療法学演習ⅠB	2		2	
	作業療法学特論ⅡA	1		2	
	作業療法学特論ⅡB	1		2	
	作業療法学演習ⅡA	2		2	
	作業療法学演習ⅡB	2		2	
作業療法学実習A	1		2		
作業療法学実習B	1		2		
	小計		4	84	

- 修了要件・必修4単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文を作成し、最終試験に合格すること。
- 履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- 指導教員の担当する演習4単位を必ず修得すること。
  - 修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【医療技術学研究科医療技術学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数	
			必修	選択
医療技術学基礎研究	医療技術学研究特論	1	2	
	英語文献特論	1	2	
	英語プレゼンテーション特論	1	2	
	医療情報解析学特論	1		2
	臨床病態学特論	1		2
	医用画像特論	1		2
	総合画像検査学特論	1		2
臨床工学研究	臨床工学特論	1		2
	臨床工学演習	1		2
	先進医療学特論	1		2
	先進医療学演習	1		2
	先端医療機器学特論	1		2
	先端医療機器学演習	1		2
	医療安全学特論	1		2
	医療安全学演習	1		2
	生体情報システム工学特論	1		2
	生体情報システム工学演習	1		2
臨床検査学研究	生体機能解析学特論	1		2
	生体機能解析学演習	1		2
	高次生理機能解析学特論	1		2
	高次生理機能解析学演習	1		2
	臨床化学分析学特論	1		2
	臨床化学分析学演習	1		2
	臨床検査情報解析学特論	1		2
	臨床検査情報解析学演習	1		2
	分子病態解析学特論	1		2
	分子病態解析学演習	1		2
診療放射線技術学研究	組織・形態解析学特論	1		2
	組織・形態解析学演習	1		2
	感染防御学特論	1		2
	感染防御学演習	1		2
	画像情報理工学特論	1		2
	画像情報理工学演習	1		2
	放射線計測管理学特論	1		2
	放射線計測管理学演習	1		2
	放射線画像検査学特論	1		2
	放射線画像検査学演習	2		2
医療技術学特別研究Ⅰ	医用画像検査学特論	1		2
	医用画像検査学演習	2		2
	放射線治療学特論	1		2
	放射線治療学演習	2		2
医療技術学特別研究Ⅱ	代謝・機能画像検査学特論	1		2
	代謝・機能画像検査学演習	2		2
小計			10	82

＜臨床工学研究コース＞

修了要件・医療技術学基礎研究より8単位以上（必修6単位、選択2単位以上）、臨床工学研究より16単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特別研究Ⅰおよび医療技術学特別研究Ⅱの必修4単位、合計32単位以上を修得の上、修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。  
 ・修了要件32単位のうち4単位に限り、医療技術学専攻内の他コース（臨床検査学研究、診療放射線技術学研究）の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

＜臨床検査学研究コース＞

修了要件・医療技術学基礎研究より8単位以上（必修6単位、選択2単位以上）、臨床検査学研究より16単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特別研究Ⅰおよび医療技術学特別研究Ⅱの必修4単位、合計32単位以上を修得の上、修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。  
 ・修了要件32単位のうち4単位に限り、医療技術学専攻内の他コース（臨床工学研究、診療放射線技術学研究）の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

＜診療放射線技術学研究コース＞

修了要件・医療技術学基礎研究より8単位以上（必修6単位、選択2単位以上）、診療放射線技術学研究より16単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特別研究Ⅰおよび医療技術学特別研究Ⅱの必修4単位、合計32単位以上を修得の上、修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。  
 ・修了要件32単位のうち4単位に限り、医療技術学専攻内の他コース（臨床工学研究、臨床検査学研究）の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

**【医療福祉マネジメント学研究所医療福祉経営学専攻】**

研究分野	授 業 科 目	配当 年次	単位数	
			必修	選択
基礎	医療福祉マネジメント特論Ⅰ	1	2	
	医療福祉マネジメント特論Ⅱ	1	2	
	倫 理 学 特 論	1		2
	社 会 保 障 特 論 Ⅰ	1		2
	社 会 保 障 特 論 Ⅱ	1		2
	医療福祉経済学特論Ⅰ	1		2
	医療福祉経済学特論Ⅱ	1		2
	医療福祉政策特論Ⅰ	1		2
	医療福祉政策特論Ⅱ	1		2
	財 政 学 特 論 Ⅰ	1		2
	財 政 学 特 論 Ⅱ	1		2
	医療福祉統計解析特論Ⅰ	1		2
	医療福祉統計解析特論Ⅱ	1		2
	社 会 調 査 特 論 Ⅰ	1		2
社 会 調 査 特 論 Ⅱ	1		2	
理論	医 療 特 論 Ⅰ	1		2
	医 療 特 論 Ⅱ	1		2
	組 織 行 動 特 論 Ⅰ	1		2
	組 織 行 動 特 論 Ⅱ	1		2
	財 務 会 計 特 論 Ⅰ	1		2
	財 務 会 計 特 論 Ⅱ	1		2
	經 営 工 学 特 論 Ⅰ	1		2
	經 営 工 学 特 論 Ⅱ	1		2
	医療福祉コンサルタント特論Ⅰ	2		2
	医療福祉コンサルタント特論Ⅱ	2		2
	NPOマネジメント特論Ⅰ	1		2
	NPOマネジメント特論Ⅱ	1		2
	医療福祉公的責任特論Ⅰ	1		2
	医療福祉公的責任特論Ⅱ	1		2
社会福祉施設運営特論Ⅰ	1		2	
社会福祉施設運営特論Ⅱ	1		2	
医療福祉人事労務管理特論Ⅰ	2		2	
医療福祉人事労務管理特論Ⅱ	2		2	
医療法人会計特論Ⅰ	2		2	
医療法人会計特論Ⅱ	2		2	
非営利組織体会計特論Ⅰ	1		2	
非営利組織体会計特論Ⅱ	1		2	
消費者福祉特論Ⅰ	2		2	
消費者福祉特論Ⅱ	2		2	
地域 支援 研究	ソーシャル・アントレプレナー養成特論Ⅰ	1		2
	ソーシャル・アントレプレナー養成特論Ⅱ	1		2
	地域活性化特論Ⅰ	1		2
	地域活性化特論Ⅱ	1		2
医療福祉経営学特別研究Ⅰ	2	2		
医療福祉経営学特別研究Ⅱ	2	2		
小 計		8	82	

修了要件・必修8単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。

- ・指導教員の担当する「医療福祉経営学特別研究Ⅰ」2単位、「医療福祉経営学特別研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。
- ・修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

**【医療福祉マネジメント学研究所医療秘書学専攻】**

研究分野	授 業 科 目	配当 年次	単位数		
			必修	選択	
基礎 理論	医学・医療の倫理特論	1		2	
	医療制度・政策特論	1		2	
	段取りマネジメント特論	1	2		
	医療情報マネジメント特論	1		2	
	病院管理学特論Ⅰ	1		2	
	病院管理学特論Ⅱ	1		2	
	医療秘書英語特論Ⅰ	1	2		
	医療秘書英語特論Ⅱ	1		2	
	組織行動特論	1		2	
	病院経営財務特論	1		2	
	医療秘書学特論	1	2		
	医療秘書機能特論	1	2		
	医療秘書法令特論	1		2	
	医療秘書研究支援特論	1		2	
医療 秘書 学 研 究	医療秘書研究支援業務特論	1		2	
	医療秘書組織行動特論	1		2	
	対医療経営者気配り特論	1		2	
	医療秘書英語特論Ⅲ	2		2	
	医療秘書英語特論Ⅳ	2		2	
	医療秘書学実習	1		2	
	医療秘書学セミナーⅠ	1		1	
	医療秘書学セミナーⅡ	1		1	
	医療秘書学特別研究Ⅰ	2	2		
	医療秘書学特別研究Ⅱ	2	2		
	小 計		12	36	

修了要件・必修12単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。

- ・指導教員の担当する「医療秘書学特別研究Ⅰ」2単位、「医療秘書学特別研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。
- ・修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

**【医療福祉マネジメント学研究科医療福祉デザイン学専攻】**

研究分野	授 業 科 目	配当 年次	単位数	
			必修	選択
基礎理論	美学特論Ⅰ	1	2	
	美学特論Ⅱ	1		2
	倫理学特論	1		2
	医療福祉マネジメント特論	1		2
	社会保障特論	1		2
	道具文化特論	1		2
	認知心理学特論	1		2
	社会学特論	1		2
医療福祉デザイン学	医療福祉デザイン学特論	1	2	
	ヒトや動物の形および構造のデザイン特論	1		2
	ヒトや動物の形と機能のデザイン特論	1		2
	生体デザイン学特論Ⅰ	1		2
	生体デザイン学特論Ⅱ	1		2
	生体デザイン学演習Ⅰ	1		2
	生体デザイン学演習Ⅱ	1		2
	医療情報デザイン特論Ⅰ	1		2
	医療情報デザイン特論Ⅱ	1		2
	ビジュアルコミュニケーションデザイン特論Ⅰ	1		2
	ビジュアルコミュニケーションデザイン特論Ⅱ	1		2
	ビジュアルコミュニケーションデザイン演習Ⅰ	1		2
	ビジュアルコミュニケーションデザイン演習Ⅱ	1		2
	医療福祉デザイン計画特論	1		2
	医療福祉デザイン計画演習	1		2
	ホスピタルイベントプロジェクト特論Ⅰ	1		2
	ホスピタルイベントプロジェクト特論Ⅱ	1		2
	医療福祉アート演習Ⅰ	1		2
	医療福祉アート演習Ⅱ	1		2
	ホスピタルデザイン特論Ⅰ	1		2
ホスピタルデザイン特論Ⅱ	1		2	
ホスピタルデザイン演習Ⅰ	1		2	
ホスピタルデザイン演習Ⅱ	1		2	
医療福祉施設デザイン特論	1		2	
医療福祉施設デザイン演習	1		2	
医療福祉デザイン学特別研究Ⅰ	2	2		
医療福祉デザイン学特別研究Ⅱ	2	2		
小 計			8	62

修了要件・必修8単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文等（修士論文又は修士作品）を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。

- 指導教員の担当する「医療福祉デザイン学特別研究Ⅰ」2単位、「医療福祉デザイン学特別研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。
- 修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

**【医療福祉マネジメント学研究科医療情報学専攻】**

研究分野	授 業 科 目	配当 年次	単位数		
			必修	選択	
基礎理論	倫理学特論	1		2	
	医療福祉マネジメント特論	1		2	
	社会保障特論	1		2	
医療支援システム学	医療情報管理学特論A	1		2	
	医療情報管理学特論B	1		2	
	医療情報システム学特論A	1		2	
	医療情報システム学特論B	1		2	
	生体システム工学特論A	1		2	
	生体システム工学特論B	1		2	
	国際医療情報処理学特論A	1		2	
	国際医療情報処理学特論B	1		2	
	病院管理情報システム工学特論A	1		2	
	病院管理情報システム工学特論B	1		2	
	医用画像工学特論A	1		2	
	医用画像工学特論B	1		2	
	情報システム工学	福祉システム工学特論A	1		2
		福祉システム工学特論B	1		2
		生体情報工学特論A	1		2
		生体情報工学特論B	1		2
情報通信ネットワーク特論A		1		2	
情報通信ネットワーク特論B		1		2	
ソフトコンピューティング特論A		1		2	
ソフトコンピューティング特論B		1		2	
数理情報学	医療情報セキュリティ特論A	1		2	
	医療情報セキュリティ特論B	1		2	
	応用数値解析特論A	1		2	
	応用数値解析特論B	1		2	
情報学	応用解析特論A	1		2	
	応用解析特論B	1		2	
	数値解析特論A	1		2	
	数値解析特論B	1		2	
	シミュレーション科学特論A	1		2	
	シミュレーション科学特論B	1		2	
医療情報学特別研究A	2	2			
医療情報学特別研究B	2	2			
小 計			4	66	

修了要件・必修4単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。

- 指導教員の担当する「医療情報学特別研究A」2単位、「医療情報学特別研究B」2単位を必ず修得すること。
- 修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。